

生活支援を考える部会 報告

● 本専門部会の活動の要約

本専門部会は市内にある指定特定相談支援事業所4カ所（サポート（狛江市社会福祉協議会）・みずき（足立邦栄会）・地域生活支援センターリヒト（さつき会）から2～4名、狛江市福祉保健部福祉相談課相談支援係から1名、狛江市児童発達支援センター（雲柱社）より1名参加し、月2回（実施日は原則第一・第三木曜日の10:00-12:00）の頻度で実施した。狛江市児童発達支援センターからは、月に1回のみの参加となっている。

本専門部会は、相談支援事業所連絡会と同日に連続して実施しており、前半30分程度を「相談支援事業所連絡会」として情報共有を行い、その後、専門部会を実施している。会議時間は全体で2時間ほどである。

● 専門部会についての報告

1 専門部会開催状況

期間：令和6年7月4日～令和6年10月17日（全8回）

1. 7月4日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（3）：マトリクスの作成

（事例提出：みずき・司会：リヒト・グラフィック：サポート）

R6_狛江市地域自立支援協議会 第2回全体会資料（令和6年11月28日）

資料X

2. 7月18日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（4）：レベル分析
3. 8月1日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（5）：地域づくり計画の作成（1）
4. 8月15日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（6）：地域づくり計画の作成（2）
5. 9月5日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（7）：検討会・全体会用説明資料の検討（1）
6. 9月19日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（8）：検討会・全体会用説明資料の検討（2）
7. 10月3日：地域生活支援事業を含めた福祉サービス利用に複数課題を抱える家族への支援（仮）（9終）検討会・全体会用説明資料の検討（2）成果物完成
8. 10月17日：仮 対人援助が苦手な社会的孤立にある障害を持っている方が地域に安全に暮らしていくために、見守りの仕組みを考える。（1）

内容：野中式事例検討の方法でのアセスメント

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）

2 専門部会今後の開催予定

(1) 10月17日・11月7日・11月21日・12月5日・12月19日

R6_ 狛江市地域自立支援協議会 第2回全体会資料（令和6年11月28日）

資料X

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）

(2) R7年1月9日・1月16日・2月6日・2月20日・3月6日・3月13日

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）

3 令和6年度狛江市地域自立支援協議会研修 アンケート集計結果

別紙「フライヤー案」参照

- ・実施日：2025（令和7）年1月31日（金）13:30-17:00
- ・場所：狛江市役所 4階特別会議室
- ・内容：現場で活かすファシリテーション～野中式事例検討を通じて体験する～

● 相談支援事業所連絡会についての報告

1 事例検討会

- ・原則第3木曜日の18時より事例検討会を実施している。

実績：

- ・7月18日：参加者4名 ・8月15日：参加者5名
- ・9月19日：参加者4名 ・10月17日：参加者6名

2 東京都相談支援従事者研修への協力

R6_狛江市地域自立支援協議会 第2回全体会資料（令和6年11月28日）

資料X

東京都が主催する相談支援専門員を養成する研修について、新カリキュラムとなった2020（令和2）年度より、「地域における実習」が組み込まれることになった。

これまでも、事業所連絡会相談支援部会として「実習拠点機関」に協力をしてきた。狛江市内在勤で主任相談支援専門員を有している3名の相談支援専門員が実習のお手伝いをしている。（狛江市内で主任相談支援専門員は3名おり、森田純司（サポート）・今村まゆら（リヒト）・東貴宏（リヒト）である。）

令和6年度より、狛江市基幹相談支援センター組織されたため、基幹相談支援センターが窓口になって協力の依頼を受けている。

令和6年度は、相談支援従事者現任研修参加者4名に対して、主任相談支援専門員がスーパーバイザーとして協力した。現在実施している相談支援従事者初任者研修は、市内からの受講者が1名であったため、サポートの森田がスーパーバイザーとして協力する予定である。